

(1) 就労・日中活動支援部会

★構成員：生活介護事業所・訓練等給付事業所・地域活動支援センター

第 1 回 平成 22 年 6 月 24 日（参加者：10 人）

- 就労移行支援事業所からのケース報告
- 生活介護及び就労継続事業所からのケース報告

＜議論内容・課題等＞

- ・ 就労支援の考え方、工賃の考え方について、各事業所の情報交換と議論が必要
- ・ 障がいの重い人への「仕事」「活動」の支援について各事業所の情報交換と議論が必要

第 2 回 平成 22 年 10 月 15 日（参加者：12 人）

- 前回までの経緯と協議内容の確認
- 就労移行支援、就労継続 B 型、自立訓練（生活訓練）の実施事業所より、統一書式の「日課表」をもとに、現場での日常の様子等（各事業所の作業内容、年間行事の現状、工賃についての考え方、事業実施上大切にしていること、悩みなど）を報告

＜議論内容・課題等＞

- ・ 就労支援の個別性、就労を目指す上でのコミュニケーション、人間関係作りに対する支援の重要性についての意見交換

第 3 回 平成 23 年 1 月 27 日（参加者：15 人）

- 就労移行・就労継続支援 B 型の実施事業所より、「日課表」をもとに現場での日常の様子等を報告

＜議論内容・課題等＞

- ・ 送迎、旅行等の行事への対処、休日の開所および勤務についての情報交換
- ・ 利用者同士のトラブルへの対処
- ・ 生活面（身だしなみ、あいさつ、家庭や家族の問題）等への支援について

第 4 回 平成 23 年 2 月 14 日（参加者：11 人）

- 就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、生活介護の実施事業所より、「日課表」をもとに現場での日常の様子等を報告

＜議論内容・課題等＞

- ・ 精神障がいの方への就労支援について
- ・ 利用者のニーズに応じて活動や作業を検討する難しさについて
- ・ 生活介護事業の中で、働きたい思いを持つ方をどのように支援するのか？

第 5 回 平成 23 年 3 月 25 日

- 参加事業所の中で未発表の事業所からの報告と次年度に向けての協議

(2) 地域生活支援部会

★構成員：居宅介護事業所

第1回 平成22年6月29日（参加者：12人）

- 前回事例検討後の経過報告
- 今年度のスケジュール確認
- 研修会 『アルコール依存症について』

講師：ひがし布施クリニック

<議論内容・課題等>

- ・ アルコール依存症について医学的知識と対応の仕方についての講義
- ・ 飲酒しているときの対応の仕方、飲酒していないときの関わり方などについて具体的なアドバイスを頂いた

第2回 平成22年8月24日（参加者：12人）

- 事例検討「一人暮らしとなった知的障がい者の支援について」

<議論内容・課題等>

- ・ 居宅介護事業所が支援している単身の知的障がい者のケースについて検討
- ・ 事業所としての支援の限界や、成年後見制度の利用、福祉サービスの契約についての考え方など現状の課題を共有した

第3回 平成22年11月18日（参加者：21人 ※各支援部会の合同研修として実施）

- 研修会『権利擁護と福祉サービス～困難事例解決への糸口～』

講師：ふせまちかど相談所

<議論内容・課題等>

- ・ 成年後見制度等の障がい者の権利擁護について講義
- ・ 対人援助の本質は「本人が中心である」ということ、困難なケースは誰が困難と感じているのかを考えて対応する必要があることなどを再確認した

第4回 平成23年2月23日（参加者：7人 居宅介護、移動支援）

- 今年度の活動の振り返りと次年度の取り組みについて意見交換

<議論内容・課題等>

- ・ 事例検討をすることでケースを客観的にとらえることができ、研修会でのアドバイスを実践することで良い変化がみられたとの意見があった
- ・ 来年度も事例検討と研修会を組み合わせ実施していく方向を確認した

(3) 入所・グループホーム・ケアホーム支援部会

★構成員：旧法身体障がい者療護施設、共同生活援助（GH）、共同生活介護（CH）事業所

第1回 平成22年5月26日（参加者：5人）

- 各事業所の現状報告
- 今年度の活動について意見交換
- ＜議論内容・課題等＞
 - ・ 利用者の高齢化や疾病への対応について議論と情報交換が必要
 - ・ 情報共有のためのマップづくりを今年度実施したい

第2回 平成22年9月2日（参加者：6人）

- 各事業所の現状報告
 - 情報共有のための資料・マップづくりに関する意見交換
 - 合同研修内容について、各事業所より希望を聴く
 - ＜議論内容・課題等＞
 - ・ 旅行・レクレーション等の行事やヒヤリハット事案についての情報交換
 - ・ 各事業所および利用者の状況、疾病時の受診・通院・入院への対応について情報共有するために、マップと合わせてアンケートを実施することを世話役より提案
- ※ 参加者所属の施設内で実施し、会議終了後施設を見学。

第3回 平成22年12月14日（参加者：5人）＊参加メンバー所属の施設で開催

- 各事業所の現状報告
- アンケートの内容をもとに、各事業所の利用者の状況や疾病時の受診・通院・入院への対応についての報告
- ＜議論内容・課題等＞
 - ・ 年末年始、休日の対応についての悩みなどの意見交換
 - ・ 通院および入院時の付き添いについては、どの事業所も制度的、人員的に不十分な中で試行錯誤しつつ対応しているのが現状であることを確認
 - ・ 施設見学

第4回 平成23年3月15日（参加者：17人）

- 合同研修 テーマ「集団の中での個別支援について」
- ※第2回の支援部会において、複数の利用者を同時にケアする必要がある中で、利用者のこだわりへの対応や、恋愛相談等気持ちへのケア、気をひくために疑似発作を起こしてしまう人への関わり方への悩み等があげられたため、上記テーマにて研修会を開催。

(4) 障がい児支援部会報告

★構成員：（府立・市立）支援学校、障がい児通園施設、児童デイサービス事業所、短期入所事業所、居宅介護事業所、日中一時支援事業所

第1回 平成22年6月17日（参加者：9人）

- 本会議の報告と年度内の開催予定の確認
- 現状報告・情報共有

<議論内容・課題等>

- ・ 「放課後や長期休暇などに障がい児が安心して過ごせる受け皿が少ない」、「学校や事業所で行っている聞き取りが保護者に負担になっている」、「サービス事業所は情報不足の中で支援している」、「共通ツールが欲しい」などの意見が出された

第2回 平成22年9月10日（参加者：10人）

- サブ協議会の報告と現状報告・情報交換
- サポートブックの検討

<議論内容・課題等>

- ・ 夏休み中のサービス利用の希望が多く、各事業所が応えきれない状況であった
- ・ 「ひとりの障がい児が成長していく過程を記録できるようにし、進級や進学、サービス利用の際に活用できるものが必要」、「ブックの中に障がい児が利用できる制度・サービスなどを資料で付けられないか」などの意見が出された

第3回 平成22年11月19日（参加者：9人）

- 現状報告・情報交換
- サポートブックの検討

<議論内容・課題等>

- ・ 各機関で一貫した支援が受けられること、聞き取りを受ける保護者の負担が軽減されること、伝え漏れを防ぐこと、子どもの成長を確認できること等、サポートブック作成の目的を確認
- ・ サポートブックに関しては、今後、他の機関との調整が必要である。

第4回 平成23年1月21日（参加者：10人）

- 2機関が初参加。支援部会の経過説明。
- サポートブックのたたき台を元に検討

<議論内容・課題等>

- ・ 障がい児の年齢や障がい状況から、記入様式をどのように設定していくのかなど検討
- ・ 差込式のファイルにして、様式や学校・事業所の支援計画も挟めるようにすることを確認
- ・ 作成後の活用や運用については、今後、他の機関とも連携していく。